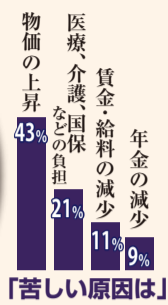
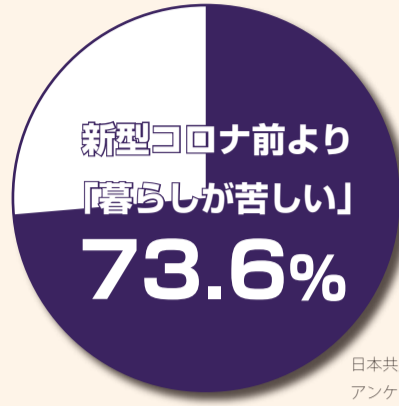


4月の選択  
日本共産党  
4→5人で

# くらし応援第一の狛江に



日本共産党狛江市議団の市政アンケート結果より（回答数 633人）

「物価があがりスーパーで安売りしている弁当しか買うことができない(20代・正社員)」「給料変わらず、諸物価上昇、毎月の医療、介護料の負担が重い。赤字をいつまで持ちこたえられるか不安(60代・契約社員)」

日本共産党  
市議会議員

西村あつ子



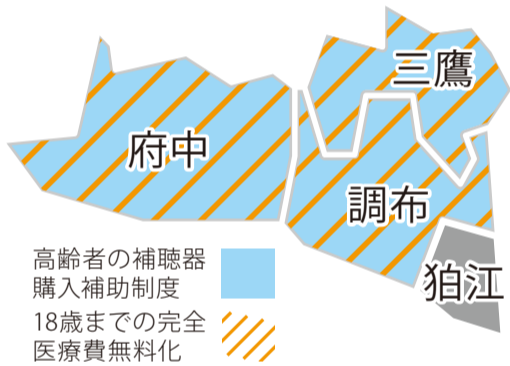
40年ぶりの物価高騰の中、悲痛な市民の声が相次いでよせられています。この声を無視して岸田政権と自民党、公明党がすすめる43兆円もの大軍拡・大增税に怒りが広がっています。こんな時こそ、狛江市は市民のくらし応援を守るべきです。

多摩地域初「第三子から無償化」実現 さらに前へ

## 学校給食無償化はすべての子どもに

いま、全国でも都内でも、子育て支援対策として学校給食費の無償化が進められ、おとなり世田谷区もふみだしました。日本共産党狛江市議団は2018年3月からくり返し給食費無償化を

要望。市民のみなさんの声におされ、多摩地域ではじめて、2023年度から第三子の学校給食費の無償化がスタートします(140世帯が対象)。さらに拡充し、完全無償化をめざします。



周辺自治体で次々 ただちに狛江でも

### 18歳までの医療費の完全無償化の実現を

都の事業として、制限つきの18歳までの医療費の無償化が実現。近隣市は独自に上乗せして所得制限をなくしています。狛江市でも完全無償化をめざします。

### 高齢者の補聴器購入費の補助制度の導入を

高齢者のみなさんから、補聴器が高すぎて買えないという声があがっています。東京都の補助金を活用して、市に補聴器の購入費助成制度をつくらせます。

### 防犯・防災 命をまもる

- 安心安全パトロールの強化
- 街路灯の増設
- 豪雨・地震災害対策の強化
- 狛江調布保健所の復活を

新型コロナ累計感染者数は、狛江市が人口当たりで多摩地域最多でした。狛江市含む6市104万人という保健所管轄を見直し、狛江調布保健所の復活で、感染症対策強化を。

### 市民の声を市政へ

- 国保税・介護保険料の負担を軽減
- 市民・事業者へ物価高騰対応の支援を
- 学童クラブの増設
- 教職員の増員・30人学級実現
- ジェンダー平等実現へ
- 小中学校のトイレに生理用品常備
- ひとり親家庭・若者への家賃補助制度
- 気候危機打開へとりくみ促進
- 中央図書館は現在地で充実を

### 改善してきた市の財政 今こそ暮らしへ

くらしを守りながら、土地開発公社の借金48億円を含む100億円余の借金を返済した矢野市政。以来、長年の努力が実って、市民のために使える財政調整基金は20億円にも増えました。市の財政力は、市民のくらし支援に使わせましょう。

23億円も  
黒字に  
(2021年度)

財政調整基金  
20億円超

## 大軍拡・大增税 岸田政権と自民党・公明党の暴走にノーを



日本共産党  
市議会議員

にしむら・あつこ  
**西村あつ子**

1期目から子育て支援の充実へ、狛江市議会で初めて出産した女性議員として、母親の目線で尽力してきました。物価高騰からくらしや営業を守るため、これからもみなさんの声を議会へ届けます。

【略歴】66年東京都生まれ。こだま幼稚園、旧四小・旧八小、三中、都立高校卒業後、デザイン会社等を経て99年から狛江市議(6期)。●党市議団幹事長、議会運営委員会副委員長、総務文教常任委員●市議会副議長、保育園父母の会役員歴任。

### 狛江で育ち 子育ての声を市政に

<実現しました>

- コロナ対策で大学生と、制度の狭間の事業者に市独自の給付金
- 学校制服のスカート・スラックスを選択可に
- 「都営狛江団地」バス停設置

<活動地域>

中和泉全域、西和泉1・2丁目、和泉本町1丁目のうちセントラルハイツおよびグランドメゾン